初教 KAWARABAN
かわらばん
第5号
2003.7.31
広島文教女子大学
教育学会
発行

「携帯電話」考

学科長　金舛　俊乍

先日、久しぶりにJRを利用する機会があり可部駅についた。高校生が帰宅する時刻である。5～6人の女子高生が話に花を咲かせていた。すると、一人が携帯電話を取り出し電話をかけだした。家にでもかけているのだろう。そうすると、何と、他の生徒たちも一斉にかばんから取り出し電話をかけだしたではないか。

次は、学内の文教生に眼を向けてみよう。2コマ目終了後、文教ホール前。授業を終えた学生が集まってくる。そのうち、一人、二人、三人、…将棋のコマ倒しゲームのように何と多くの学生が電話中。楽しそうに。周りを気にすること一切無し。何を話しているのか興味が沸く。「じゃぁ、3コマ目に」という声も聞こえる。3コマ目に会うのだったら、わざわざ電話をかけなくても…。

この2つの光景をみて、便利な世の中になったなあとつくづく感心する。電話ボックスまで行かなくてもたちどころに用が足せるのだから。コインを入れなくてもボタンを押すだけで話が出来るのだから。こんな便利な世の中を誰が想像したであろうか。今では、携帯電話は中学生、いや小学生でも持っているという。一家に2～3台の携帯電話は当たり前だという。まさに、生活必需品である。この経済不況の時代に…。

視点を変えてみよう。便利さだけを求めて生活して、果たしていいのだろうか。今の世の中、何か大切なものが失われているのではないだろうか。こんな素朴な疑問が沸いてくる。ひと昔前までは携帯電話などなくても結構充実した生活が出来ていたのに…。今朝も通勤途中、電話をかけながらハンドルを握っている車を何台見かけたことやら。

ゆとりのある生活とはどのような生活であろうか？　自分は時代遅れの融通のきかない人間だろうか？　携帯電話の急速な普及に関わって、自分の生き方を模索し、問い直している今日この頃である。

1年間過ごしたクラスは宝物

かなりや幼稚園教諭　竹内　茜（初教16期生）

「乗りたいな～」子どもの頃見かけていたかなりやの大きな園バスーまさか大きくなって私が先生として乗るとは…思ってもいませんでした。

かなりや幼稚園（福山市寺町　園児数678名）は、寺の幼稚園であるため、年間を通して仏教行事や季節の行事が保育内容に多く組み込まれています。花まつり、愛鳥週間にちなんで山林に巣箱をかけに行ったり、田植え、稲刈り、お泊り会…大学時代まではたいして意識していなかった年間行事に触れることで、季節を身近に感じるようになりました。

昨年度は初めて年長の担任となり、私にとっては忘れられない1年となりました。

本園の年長クラスの保育内容は、季節の行事に加え、鼓隊、文字、かずのおけいこ、般若心経を覚えたりなど、盛りだくさん！　やはり鼓隊、運動会、発表会の練習が続くと嫌がる子がいます。励ましや、やる気になるような言葉掛けに苦労しました。

「あがねせんせ～い！」と寄ってきてくれる子どもたち。自分の名前が書けるようになったと喜ぶ姿、運動会、発表会の大変な練習を乗り越え、立派に演じた子どもたちの姿を見たときは涙が出るくらい嬉しいものです。子どもたちから多くの感動を与えてもらいます。たとえ疲れている時でもそれがあるから「がんばれるのでしょうね。

3月、子どもたちが園を巣立ちました。一人ひとりから親子でメッセージや絵を描いた画用紙を頂きました。「あがねせんせいありがとう」ーこの言葉で、自分が子どもたちに与えたものの大きさを実感するとともに、一年間頑張ってよかった！という達成感でいっぱいになりました。

今年度もまた、年長クラス32名の担任です。女の子がお手伝いを進んでしてくれるので助かっています。子どもたちが卒園する時に、私も子どもたちも共に「つきとくみでよかった！」と思える1年になりますように…。

竹内さんとかなりや幼稚園児たち

面白ゼミ紹介　教育心理学コース　田頭穂積ゼミ

レポーター小野　由美子

みなさんこんにちは！　今回は心理学コースの田頭ゼミを紹介します。レポーターは、優しく笑ってツッコミ入れる小野由美子が務めたいと思います。

田頭ゼミ4年のメンバーは私の他に、笑い上戸の梅岡真由さんと、しっかり者の田川恵矢子さん、ツッコミ頑張り屋の野田裕子さん、そして、どことなく天然入ってる!?松村佳美さんがいます。私たちは、毎週金曜日の3コマ目に田頭研究室で和気あいあいとゼミを行っています。

田頭研究室といえば、「どこでやってるの？」「みんな座れるの？」と言う声がありますが、大丈夫!!徳島はっさくの絵やたくさんの論文等に囲まれながら、限定3人はちゃんとソファーに座れます。（ちなみに田頭先生は徳島出身というわけでも、はっさくが特別大好きというわけでもありません…。）かえって人と人との距離が近くなり、より親睦を深められます。

またゼミでは、それぞれ自分の研究テーマに沿って卒論を進めていますが、卒論の話をしていてもいつの間にか話がそれてしまいます。次のゼミでは発表をしよう！と決めてやるのですが、やっぱり雑談が入ります。田頭先生のユーモアと学生のノリ、ツッコミでいつも笑いが絶えません。時には雑談だけでゼミの時間が終わってしまうこともあり、卒論大丈夫かな…と心配になることもあります。けれど私たち学生はドーンと構え、なんとかなる、いや、なんとかするという勢いで、しかしながら、ぼちぼちと卒論を進めている今日この頃です。

今後、親睦をより一層深めるために、食べに行こうという話もあります。お店も調査済みで、当然お酒も入ります。みんな酔うとどのようになるのか楽しみですね～！

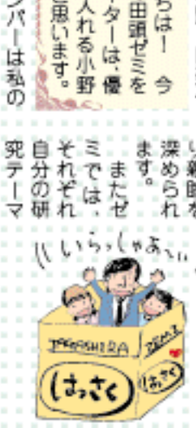
今は卒論を進めつつ、教員採用試験や、公務員試験、就職活動とそれぞれの将来に向かって頑張っていますが、残りの学生生活を楽しみつつ田頭先生についていきたいと思います。

最後に、

た…楽しいゼミで心も和み、
が…頑張る我等を支援して、
し…しっかりサポートその右手には、
ら…ラケットを握る田頭穂積！（テニスがお上手です。）

ありがとうございました。

（左から、小野さん、梅岡さん、田頭先生、松村さん、田川さん、野田さん）



平成15年度　初教スタッフ（五十音順）

新枝　勝
有馬　比呂志
植田　ひとみ
浴野　雅子
岡　利道
奥　雅雄（生活科学科より）
金舛　俊乍
川西　正行
神原　雅之
黒柳　宏義
小西　宏明
佐伯　育郎
新宅　雅和
杉山　浩之
田頭　穂積
徳本　達夫
中島　雪絵（新任）
原田　正治
村上　典章
山下　美佐子
吉田　裕午
※前年度異動　退任等
金本　満利子（辞職）
河村　裕子（総合情報センターへ）
田村　進（心理学科へ）

花も蕾も
ふみこえて…
今日も元気に
一直線

金舛隊長と
ともに歩むは
個性あふれる
初教の教職員

「初教かわらばん」編集スタッフ

田頭　穂積（編集長）
岡　利道（副編集長）
山田　悦子（初教14期生　挿絵担当）
河村　裕子（初教16期生）
中島　雪絵（初教18期生）
小村　瑞与（初教20期生）
小野　由美子（初教20期生）
永見　千尋（初教20期生）
石谷　桂子（初教22期生　挿絵担当）

「初教かわらばん」投稿のご案内

会員の皆様の投稿により、本誌はより充実し、より楽しいものになります。投稿を、心からお待ちしております。次の要領で、どしどし原稿をお寄せ下さい。
なお、掲載分につきましては、編集委員会より薄謝をお送りします。

○文量　800字以内（手書き、ワープロどちらでも）
○写真　1～2枚（様子がわかるもの）
○送り先（郵送の場合）
〒731-0295　広島市安佐北区可部東1-2-1　広島文教女子大学人間科学部初等教育学科「初教かわらばん」編集委員会
○送り先（電子メールの場合）　t.oka@h-bunkyo.ac.jp

編集後記

T　突撃レポートは、2年連続で、福岡県が舞台となったね。
O　私たちは、2年ぶりの登板でした。
T　雨だったけど、いい取材ができたなぁ…。
O　小倉から乗ったローカル線も、味がありました。
T　うん、何となく可部線を思い出すようで（笑）。
O　福岡教育大の中では、「～トオ？」という語尾で話される方が多かったですね。
T　親しみがもてたなぁ。
O　センセイ、来年はどうするトオ？
T　おっと、方言でくるとは…（冷汗）。やりますよ。編集長のことでしょ。
O　そうこなくちゃ。さすが、九州男児タイ！
T　薩摩隼人で「ゴウス！」
O　しかし、今回も紹介しきれないくらい、卒業生は頑張ってますねぇ。
T　全員のところを回って取材したい気分だなぁ。
O　じゃんじゃん行きましょう！
T　そして、みなさんからの投稿や情報提供も、どうぞヨロシク！